



新宿区

暮らしやすさも賑わいも  
一番の自治のまち「新宿」

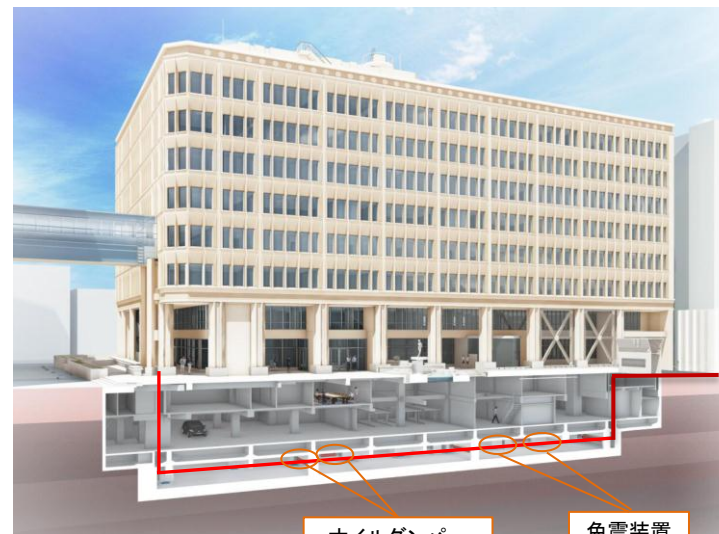
平成27年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成27年2月18日(水)

事業名	本庁舎の耐震化【本庁舎免震改修工事等】	予算(案)の概要 153 ページ
予算額	1,808,899 千円 (拡充) (前年度予算額 1,392,682 千円)	
取材先	総務部 副参事(庁舎耐震改修担当) 川島(電話 03-5273-3044) 総務部 施設課長 小俣(電話 03-5273-3790)	

震災後にも被災者支援及び復興の拠点としての機能を発揮できるよう  
**本庁舎の耐震性能の強化に取り組んでいます**  
【予定工事費 約32億円】

本庁舎は、大地震に遭遇した後も区の防災拠点としての機能を果たし、継続して使用できるように、免震改修及び防災機能強化工事等を実施します。

＜免震改修のイメージ＞ ※赤い線の上が免震化する範囲



オイルダンパー 免震装置

【免震装置】



ゴムの柔軟性により、地震時に揺れを建物に伝えにくくします。

【可変オイルダンパー】



油の粘性を利用して地震が発するエネルギーを吸収し、建物の揺れを抑えます。

＜スケジュール＞

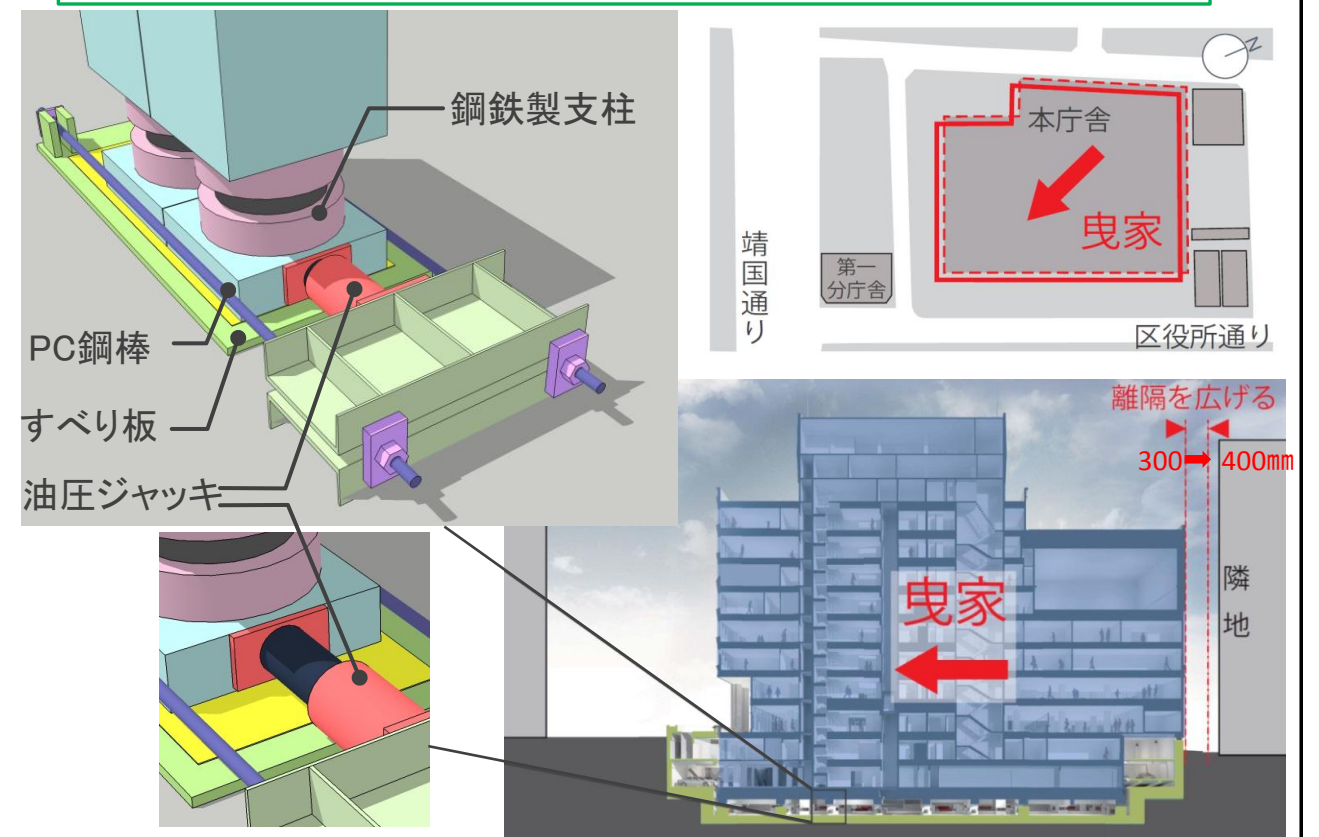
年	26												27											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
免震改修工事			●		●				●						●		●		●					●
			準備工事着手		本工事着手				免震専用ピット掘削終了						免震装置取付		曳家実施		免震化完了					工事完了

# 曳家を実施し免震性能をより高めます

～平成27年6月に建物を南東方向へ動かします～

- ・下図のようにすべり板を敷き、油圧ジャッキで押して建物を南東方向(南へ100mm、東へ100mm)へ動かします。
  - ・隣地との離隔をより広くとり、地震時の揺れ幅を大きくすることで、より高い免震性能を発揮させます。
- (曳家を行うことにより、当初設計の応答加速度を250galから200galへ性能アップ)

※応答加速度:建物に地震動が作用した場合の建物の揺れの加速度



## ＜免震改修工事概要＞

### 1. 免震改修工事及び関連工事

- (1) 基礎下免震構法による免震改修  
※建物をジャッキ等で支えながら、基礎の下を掘削して免震専用ピット(空間)を構築し、その空間に免震装置を取り付けます。
- (2) 免震改修関連工事(曳家、エレベーター更新・防災機能強化工事)
- (3) モニタリング設置等工事

### 2. 庁舎維持管理等工事

- (1) 冷温水発生機更新工事  
※屋上にある設置後20年経過した空調室外機の更新
- (2) 高天井耐震改修工事